

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（非連結）

平成 16 年 1 月 30 日

上場会社名 株式会社タカキタ (コード番号：6325 東証・名証第 2 部)

(URL <http://www.takakita-net.co.jp/>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 若山 東男 (TEL：0595 - 63 - 3111)

問合せ先責任者 役職名 取締役 大井 泰嗣

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近会計年度における認識 : 無
の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日）

(1) 売上高 (注) 金額は百万円未満を切り捨て

	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	9,405	-
15 年 3 月期第 3 四半期	-	-
(参考)15 年 3 月期	12,321	

(注) 当期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第 3 四半期におけるわが国の経済は、企業収益の改善や、設備投資に回復の兆しがみられることなど一部においては景気回復の明るい材料がありましたが、一方でデフレ経済は長期化の一途を辿り、雇用情勢、個人消費を取り巻く環境は改善されず、依然として厳しい状況のうちに推移いたしました。

農業機械業界においては、10 年ぶりの冷害、野菜価格の低迷、農業就業人口の減少等農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況でありました。

このような環境のもと当社農業機械部門においては、飼料の自給率向上に貢献し、良質・安価・安全な飼料の安定的供給を推進する牧草関連作業機「ロールベラ・ラップマシーン」、畜産の環境問題にも配慮した土作り関連作業機「マニアスプレッタ」を軸として拡販に努めましたが、全国的な天候不順が売上高に影響をきたし、売上高は 38 億 97 百万円となりました。

一方、電器音響部門においては、得意先による部品の海外現地調達化が進み、売上高は 51 億 42 百万円となりました。

また、軸受部門においては、受注の回復もあり、売上高は 3 億 66 百万円となりました。

以上の結果、当第 3 四半期の売上高は 94 億 5 百万円となりました。

なお、当期は四半期決算導入の初年度であるため、前年同期との比較分析は行っておりません。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	11,800	380	150	8.75

当期の業績については概ね予定どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上